

講師略歴

講師略歴については随時更新予定

守本 正宏（株式会社 FRONTEO 代表取締役社長）

1989 年防衛大学校卒業後、海上自衛隊護衛艦勤務。アプライドマテリアルズジャパン株式会社を経て、2003 年株式会社 UBIC（現 FRONTEO）を設立。グローバル企業の国際訴訟対策をハイテク技術で支援し、専門家の暗黙知を含む判断基準を理解する人工知能「KIBIT（キビット）」の開発・実用化に成功。現在、その活用分野をヘルスケア、デジタルマーケティング、デジタルインテリジェンスへ広げており、さらに大きな社会課題の解決を目指している。2007 年東証マザーズ上場、2013 年には米国ナスダックに上場し、短期間で日米双方のデュアルリスティングを果たした数少ない日本企業の経営者でもある。

2016 年 7 月、社名を株式会社 FRONTEO に変更。米国、韓国、台湾に 15 の海外拠点をもち、グループ従業員 400 名のうち外国籍 72%、国内管理職の女性比率 28%（2016 年 3 月末時点）。

奥野 恭史（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授）

1993 年京都大学薬学部卒業、同大学大学院薬学研究科進学、2000 年博士（薬学）学位取得。2001 年京都大学化学研究所バイオインフォマティクスセンター博士研究員、助手、2003 年京都大学大学院薬学研究科助手、准教授、2008 年京都大学大学院薬学研究科寄附講座特定教授となる。2013 年先端医療振興財団 先端医療センター研究所 シミュレーション創薬グループ客員グループリーダーを併任。2013 年理化学研究所 計算科学研究機構客員主管研究員（併任）、2014 年京都大学大学院医学研究科寄附講座特定教授、2014 年理化学研究所 生命システム研究センター客員主管研究員を併任。2015 年先端医療振興財団 クラスタ推進センター インシリコ創薬拠点形成推進グループ部長を併任。2016 年理化学研究所健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム 融合研究推進グループ 副グループディレクター（併任）、2016 年より現職。

村松 慎一（自治医科大学地域医療学センター東洋医学部門 特命教授、神経内科学 特命教授（兼任））

1983 年自治医科大学 医学部卒、1991 年 自治医科大学 大学院卒。

1995 年米国 NIH, NHLBI, Visiting Associate

1997 年自治医科大学 神経内科学 助手、2004 年神経内科学助教授、2008 年地域医療学センター東洋医学部門特命教授、神経内科学 特命教授（兼任）。

2014 年 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 遺伝子治療開発分野特任教授（兼任）。（株）遺伝子治療研究所：取締役。

木村 廣道（東京大学大学院 薬学系研究科 客員教授）

東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了（薬学博士）、スタンフォード大学大学院ビジネススクール修了（MBA）。協和発酵、モルガン銀行を経て、アマシヤムファルマシアバイオテック(株)代表取締役社長、日本モンサント(株)代表取締役社長を歴任。

2002年より東京大学大学院薬学系研究科ファーマコビジネス・イノベーション教室特任教授、2016年4月より客員教授（現職）。2013年より文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）」拠点COINSプロジェクト統括。

(株)ライフサイエンスマネジメント 代表取締役、(株)ファストトラックイニシアティブ 代表取締役、および一般社団法人 医療産業イノベーション機構 理事長を兼務。経済同友会幹事、日本スタンフォード協会理事を務める。

吉田 宏平（総務省 情報流通行政局 情報流通高度化推進室 室長）

1994年郵政省（現 総務省）入省。情報流通政策、特に携帯電話の新規参入や番号ポータビリティの導入ならびに電気通信分野の競争促進に関する制度整備等に従事。

2013-15年に株式会社電通への出向（官民交流）を経て、現職において医療・健康・介護分野のICT化の推進とICTによる働き方改革の推進を担当。

石見 陽（メドピア株式会社 代表取締役社長（医師・医学博士））

1999年に信州大学医学部を卒業し、東京女子医科大学病院循環器内科学に入局。研究テーマは血管再生医学。循環器内科医として勤務する傍ら、2004年12月に株式会社メディカル・オブリージュ（現メドピア株式会社）を設立し、代表取締役社長に就任。

2007年8月に医師専用コミュニティサイト「Next Doctors(現MedPeer)」を開設し、現在10万人以上の医師（日本の医師の3人に1人）が参加する医師集合知プラットフォームへと成長させる。

2013年に企業家表彰制度「EOY 2013 Japan」チャレンジング・スピリット部門でファイナリストに選出され、2014年に東証マザーズに上場。

現在も週一回の診療を継続する、現役医師兼経営者。

秋田 正倫（株式会社エムティーアイ ヘルスケア事業本部 副本部長）

2000年千葉大学工学部（修士）卒 キヤノン株式会社入社。その後、2007年株式会社エムティーアイ入社。マーケティング専門部署調査・分析およびプロモーション業務に従事し、事業部長に着任。2012年 Healthcare 事業部長に就任し、スマートフォンにつながるヘルスケア機器「カラダフィット」など多数のヘルスケア商品を開発。2013年（9月）遺伝子検査サービス会社である株式会社エバージーン（エムティーアイ子会社）代表取締役に着任。

現在は、ヘルスケア事業本部副本部長に就任し、2015年からヘルスケア総合サービス「CARADA」を開始している。

的場 匡亮（昭和大学 大学院 保険医療学研究科（医療マネジメント）講師）

2000年慶應義塾大学商学部 卒業後、ITベンチャー企業 勤務。

2007年 University of Southern California School of Policy, Planning and Development へ留学し Master of Health Administration を取得。

2007年財団法人聖路加国際病院 経営企画室 勤務の後、2011年より学校法人 昭和大学 大学院 保健医療学研究科 講師となる。

佐藤 陽治（国立医薬品食品衛生研究所 再生・細胞 医療製品部 部長）

1995年に東京大学大学院薬学系研究科博士課程（毒性薬理学）修了後、シンシナティ大学医学部E.G.Kranias教授のポスドクとして心筋収縮や心疾患に関する遺伝子改変マウスを用いた研究に従事。1998年、国立医薬品食品衛生研究所に代謝生化学部研究員として着任し、遺伝子細胞医薬部主任研究官、同第2室室長を経て、2012年に同部長。薬事法改正に伴う組織改編で2014年より再生・細胞医療製品部長。この他に厚生労働省再生医療等製品・生物由来技術部会委員、日本再生医療学会理事（規制担当）、大阪大学大学院薬学研究科招へい教授、九州大学大学院薬学研究院客員教授、名古屋市立大学大学院薬学研究科客員教授なども務める。現在は再生医療等製品の品質・安全性に関するレギュラトリーサイエンス研究を展開。

伴 寿一（富士フイルム株式会社 執行役員 再生医療事業部長）

1985年 3月 東京大学薬学部薬学科卒業後 2008年京都大学大学院医学系研究科修士課程卒業。

1985年武田薬品工業入社後、企画開発本部 開発部を経て1993年 TAP Pharmaceutical Inc. R&D, Manager 出向、1998年 Takeda America R&D Inc. Manager 出向。2001年武田薬品工業 SPU 推進室長、2005年武田薬品工業 事業開発部 シニアマネジャー（医薬ライセンス）、2008

年武田薬品工業 事業開発部長、2012 年武田薬品工業 医薬営業本部 シニアコーディネーターを歴任。

2013 年富士フイルム株式会社入社、医薬品事業部 統括マネジャー、2015 年富士フイルム株式会社 再生医療事業推進室長兼医薬品事業部次長、2016 年 6 月より現職。

高橋 淳（京都大学 iPS 研究所 臨床応用研究分野 教授）

1986 年京都大学医学部卒業、1986 年京都大学医学部脳神経外科研修医の後、1989 年京都大学大学院医学研究科博士課程入学、1993 年 3 月 京都大学大学院医学研究科博士課程修了。博士（医学）。

1993 年京都大学医学部脳神経外科助手後、1995 年米国ソーク研究所(Dr. Fred Gage)ポスドク研究員。

1997 年京都大学医学研究科脳神経外科助手（復職）の後、2003 年京都大学医学研究科脳神経外科講師、2007 年京都大学再生医科学研究所 生体修復応用分野 准教授。

2012 年京都大学 iPS 細胞研究所 臨床応用研究分野 教授（現在に至る）。

仙石 慎太郎（東京工業大学 環境・社会理工学院 イノベーション科学系 准教授）

1996 年東京大学 理学部生物化学科卒業、2001 年東京大学 大学院理学系研究科生物化学専攻修了、博士（理学）。

2001 年 マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク・ジャパン ビジネスアナリスト/アソシエイト。

2005 年－2007 年東京大学 大学院薬学系研究科 ファーマコビジネス・イノベーション教室 講師、(株)ファストトラック・イニシアティブ（独立系 VC） マネージャーを務める。

2008 年－2009 年京都大学 産官学連携センター 寄附研究部門准教授、

2009 年－2014 年京都大学 物質－細胞統合システム拠点(WPI-iCeMS) 准教授。

2014 年－2015 年東京工業大学 大学院イノベーションマネジメント研究科 准教授、

2016 年より現職東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授（兼担・スマート創薬研究ユニット）。

迫井 正深（厚生労働省 保険局 医療課長）

1989 年～東京大学医学部医学科卒業後、東大病院、虎の門病院等で外科臨床医。

1992 年～ 厚生省入省。厚生省保険局医療課、同大臣官房国際課、同厚生科学課、環境庁環境保健部、労働省安全衛生部等に配属。

（この間、1995～1997 年、米国ハーバード大学 公衆衛生大学院留学（MPH 取得））

2006年～2009年広島県福祉保健部長、2009年厚生労働省 保険局 企画官、2012年厚生労働省 老健局 老人保健課長、2015年厚生労働省 医政局 地域医療計画課長を歴任。2016年6月より現職（厚生労働省 保険局 医療課長）。

眞島 喜幸（膵臓がんアクションネットワーク 理事長/一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事）

オタワ大学、カリフォルニア大学ロスアンゼルス校（UCLA）を卒業後、同大学の博士号課程に進み、Rand Corporationにて健康政策分析プロジェクトに参画。医療・教育ソフトウェアの企業で医療関係者を対象とするソフトウェア事業を進めたのち、出版社の新規事業開発を支援。2006年4月に実妹をすい臓がんで失くし、この年、PanCAN Japan を設立した。家族性膵癌の疑いのある IPMN 患者として経過観察してきたが、2012年に膵癌の疑いが濃厚となり膵全摘手術を受けた。病理診断は CIS + pNET であった。膵臓がんサバイバーとしてドラッグラグ問題解消、研究者支援に向けた活動などをすすめている。

齋 寿明（第一三共株式会社 取締役専務執行役員 戦略本部長）

1979年東北大学大学院農学研究科前期課程修了の後、1979年第一製薬株式会社入社。2007年第一三共株式会社 MS推進部長、2008年同社 コーポレートコミュニケーション部長、2010年同社 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長、2012年同社 執行役員 戦略本部 製品戦略部長、2014年同社 常務執行役員 戦略本部 経営戦略部長、2015年同社 専務執行役員 戦略本部長を歴任。2015年6月より同社 取締役専務執行役員 戦略本部長（現職）を務める。

浅野 薫（シスメックス株式会社 取締役 常務執行役員 研究開発担当）

1983年3月 大阪大学大学院 工学研究科 電子工学専攻卒業の後、1987年8月 東亜医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）へ入社。2005年中央研究所長（本部長）、2009年執行役員 中央研究所長、2011年執行役員 研究開発企画本部長、2013年上席執行役員 中央研究所長を歴任。2014年取締役 上席執行役員、2015年より取締役 常務執行役員（現任）を務める。

落谷 孝広（国立がん研究センター 研究所 分子細胞治療研究分野 主任分野長）

1988年：大阪大学大学院博士過程修了（医学博士）、同年大阪大学細胞工学センター文部教官助手（肝細胞がん、肝炎の研究）、1991年：米国ラホヤがん研究所（現・SFバーナム医

学研究所) ポストドクトラルフェロー (神経分化の研究)、1993年: 国立がんセンター研究所主任研究員、その後、同分子腫瘍学部室長、がん転移研究室独立室長を経て、2010年から現職: 国立がん研究センター研究所分子細胞治療研究分野、主任分野長。

磯部 総一郎 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課長)

1985年東京理科大学薬学部卒業、2008年東京理科大学より、医薬分業史の研究で博士(薬学)を授与。

1985年厚生省(現厚生労働省)入省。

その後、医薬品行政、医療機器行政、国際麻薬統制行政(外務省在ウィーン国際機関代表部)、食品衛生行政、化学物質安全対策行政に携わり2004年から2006年まで医政局経済課課長補佐、2006年から2010年7月30日まで保険局医療課薬剤管理官、2010年から医薬品医療機器総合機構審査マネジメント部長、2012年2014年まで内閣府食品安全委員会事務局評価課長、2014年より厚生労働省大臣官房参事官(医療機器・再生医療等製品審査管理担当)、2016年6月より現職。

永井 純正 (東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 遺伝子治療開発分野 / 東京大学 医科学研究所附属病院 TR・治験センター、血液腫瘍内科兼任)

2003年東京大学医学部医学科卒業、2003年東京大学医学部附属病院 内科研修医。

2004年自治医科大学附属病院 内科ジュニアレジデント

2005年東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 医員、2009年日本学術振興会特別研究員(DC2)2010年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了(医学博士)。

2010年日本学術振興会特別研究員(PD)、2011年東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 特任臨床医、2011年独立行政法人医薬品医療機器総合機構 新薬審査第五部審査専門員を務める

2014年より東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 遺伝子治療開発分野 講師
東京大学医科学研究所附属病院 TR・治験センター、血液腫瘍内科 兼任。

木村 俊 ロイ (モジュラス株式会社 創業者・代表取締役)

2000年ボストン大学 Biomedical Engineering, Ph.D.取得。

2000年 Massachusetts Institute of Technology 博士研究員となる。

2001年 米 Variagenics, Inc. (MIT/Harvard 発バイオベンチャー)入社後、2003年 米 Bristol-Myers Squibb 入社(計算化学、創薬研究)。

2013年 シュレーディングガー株式会社入社 創薬共同研究担当。

2016 年より東京工業大学 情報生命博士教育院 産業若手メンター特定准教授（兼任、現在に至る）を務める。

2017 年 モジュラス株式会社 創業者・代表取締役就任現在に至る。

秋山 泰（東京工業大学 情報理工学院 教授/東京工業大学 情報生命博士教育院 教育院長）

専門分野はバイオインフォマティクス、大規模並列処理、機械学習応用。

1990 年 慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了、工学博士。同年 工業技術院電子技術総合研究所研究官。1992 年 京都大学化学研究所助教授。2001 年 産業技術総合研究所生命情報科学研究センター長。2007 年 東京工業大学大学院情報理工学研究科教授。2016 年 組織変更により情報理工学院教授。2011 年より東京工業大学情報生命博士教育院長を兼任。京都大学化学研究所客員教授、産業技術総合研究所創薬分子プロファイリング研究センター研究顧問、統計数理研究所運営委員、並列生物情報処理イニシアティブ理事長、他。

舩屋 圭一（ペプチドリーム株式会社 取締役 研究開発部 部長）

1995 年東京工業大学大学院理工学研究科修士課程化学専攻修了、1998 年 東京工業大学大学院理工学研究科博士課程化学専攻修了（日本学術振興会特別研究員）

1998 年三菱化学株式会社へ入社、医薬部門研究開発部を経て、2001 年 Novartis Pharma KK 筑波研究所創薬化学部門、2005 年 Novartis Pharma AG Basel Switzerland Oncology、2012 年 Novartis Leading Scientist を務める。

2014 年より、ペプチドリーム株式会社、取締役研究開発部長（現職）

大野 一樹（株式会社カタリスト 代表取締役）

東京工業大学大学院・生命理工学研究科・博士課程修了（工学博士）。

2005 年、アステラス製薬株式会社に入社。計算化学、ケモインフォマティクスの専門家として創薬研究に従事。

在職中、アステラス製薬の熱帯感染症研究チームの一員として第 11 回産学官連携功労者表彰（厚生労働大臣賞）を受賞。

2013 年、東京工業大学情報生命博士教育院の産業界若手メンター特任准教授に就任（現職）。

2014 年、アステラス製薬を退職し、株式会社カタリストを創業。

大隅 良典 (分子細胞生物学者 東京工業大学 科学技術創成研究院 細胞制御工学研究ユニット 特任教授)

略歴

- 1967年(昭和42年) 東京大学教養学部基礎科学科 卒業
1967年(昭和42年) 東京大学大学院理学系研究科 相関理化学専門課程修士課程
1969年(昭和44年) 東京大学大学院理学系研究科 相関理化学専門課程博士課程
1972年(昭和47年) 同 単位取得後退学
1974年(昭和49年) 東京大学農学部農芸化学科 研究生 理学博士取得
1974年(昭和49年) 米国ロックフェラー大学 研究員
1977年(昭和52年) 東京大学理学部植物学教室 助手
1986年(昭和61年) 同 講師
1988年(昭和63年) 東京大学教養学部 助教授
1996年(平成8年) 岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所 教授
2004年(平成16年) 自然科学研究機構 基礎生物学研究所 教授
2009年(平成21年) 東京工業大学 統合研究院フロンティア研究機構 特任教授
2014年(平成26年) 東京工業大学 荣誉教授
2016年(平成28年) 東京工業大学 科学技術創成研究院 細胞制御工学研究ユニット 特任教授

専門分野 分子細胞生物学

受賞歴

- 平成17年6月 藤原賞
平成18年7月 日本学士院賞
平成19年9月 日本植物学会学術賞
平成21年1月 朝日賞
平成24年11月 京都賞
平成25年9月 トムソンロイター引用荣誉賞
平成27年10月 Canada Gairdner International Award
平成27年11月 文化功労者
平成27年11月 慶應医学賞
平成27年12月 国際生物学賞
平成28年4月 Lewis. S. Rosenstiel Award
平成28年4月 The Wiley Prize in Biomedical Sciences
平成28年9月 The Dr. Paul Janssen Award for Biomedical Research

平成 28 年 11 月 文化勲章
平成 28 年 12 月 Breakthrough Prize in Life Sciences
平成 28 年 12 月 The Nobel Prize in Physiology or Medicine

提供：東京工業大学

濱口 道成（国立研究開発法人科学技術学術振興機構 理事長）

昭和 55 年 3 月 名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了 医学博士
昭和 55 年 4 月 名古屋大学医学部附属癌研究施設助手
昭和 60 年 9 月 米国ロックフェラー大学分子腫瘍学講座研究員
平成 5 年 12 月 名古屋大学医学部附属病態制御研究施設教授
平成 9 年 7 月 名古屋大学アイソトープ総合センター 分館長
平成 14 年 3 月 名古屋大学大学院医学研究科附属病態制御研究施設 研究施設長
平成 15 年 4 月 名古屋大学大学院医学系研究科附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 教授
平成 16 年 4 月 名古屋大学大学院医学系研究科 副研究科長
平成 16 年 5 月 名古屋大学大学院医学系研究科附属医学教育研究支援センター センター長
平成 17 年 4 月 国立大学法人名古屋大学大学院医学系研究科長・医学部長
平成 21 年 4 月 同 総長
平成 27 年 2 月 文部科学省科学技術・学術審議会会長
平成 27 年 4 月 名古屋大学総長顧問
平成 27 年 10 月より現職 受賞多数

板東 久美子（消費者庁顧問）

1977（昭和 52）年 3 月 東京大学法学部卒業
1977（昭和 52）年 4 月 文部省入省
1995（平成 7）年 4 月 文部省生涯学習局婦人教育課長
1996（平成 8）年 7 月 文化庁文化部著作権課長
1998（平成 10）年 4 月 秋田県副知事
2000（平成 12）年 7 月 文部省教育助成局財務課長
2001（平成 13）年 1 月 文部科学省初等中等教育局財務課長
2001（平成 13）年 7 月 高等教育局高等教育企画課長
2003（平成 15）年 1 月 大臣官房人事課長
2004（平成 16）年 7 月 大臣官房審議官

2006（平成 18）年 7 月 内閣府男女共同参画局長
2009（平成 21）年 7 月 文部科学省生涯学習政策局長
2012（平成 24）年 1 月 高等教育局長
2013（平成 25）年 7 月 文部科学審議官
2014（平成 26）年 8 月 消費者庁長官
2016（平成 28）年 8 月より現職

黒岩 祐治（神奈川県知事）

1980（昭和 55）年 早稲田大学政経学部卒業

1980（昭和 55）年 （株）フジテレビジョン入社

- 3 年間の営業部勤務を経て報道記者となり、政治部、社会部、さらに番組ディレクターを経て昭和 63 年より「FNN スーパータイム」キャスターに。
- 自ら企画・取材・編集まで手がけた救急医療キャンペーン（平成元年～平成 3 年）が救急救命士誕生に結びつき、平成 2 年に第 16 回放送文化基金賞と民間放送連盟賞を受賞。
- その後、日曜朝の「報道 2001」キャスターを 5 年間務めた後、平成 9 年 4 月よりワシントン駐在。
- 平成 11 年 再び「(新) 報道 2001」キャスターに復帰。
- 「感動の看護婦最前線」は平成 5 年度、14 年度の 2 度にわたって民間放送連盟賞を受賞。

2009（平成 21）年 国際医療福祉大学大学院教授に着任

- 研究テーマは「医療・福祉に関する実践的メディア論」「医療・福祉に関する報道の検証」「メッセージ力の高め方」など。

2011（平成 23）年 4 月 神奈川県知事に就任

- 2013（平成 25）年 内閣官房 健康・医療戦略 参与に就任（全国地方自治体首長で唯一）
- 2014（平成 26）年 内閣官房 ロボット革命実現会議委員に就任（全国地方自治体首長で唯一）

2015（平成 27）年 4 月 神奈川県知事（二期目）に就任

著書多数